一般質問

真政会

17年度予算で福祉施策の充実を！

Q.平成17年度予算について。

A.改革見直しの徹底を図り、職員の手当削減など約9億8千万円を生み出す中で、（仮称）東習志野こども園の開設、預かり保育の実施、病後児保育の拡大等子育て支援施策の展開や、地域防災計画策定、駅及び周辺のバリアフリー化、JR津田沼駅南口周辺開発整備事業などを重点施策とした。

Q.特別養護老人ホームの計画について。

A.第3期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画策定にあたり、特別養護老人ホームの整備計画や在宅サービスの充実を含め、総合的に介護サービス基盤整備について検討する。

Q.公民館・図書館等の階段の手摺について。

A.公民館等の階段の手摺については、安全対策から両側に設置を検討する。

Q.バリアフリーについて、特に京成津田沼駅の取り組みについて。

A.京成津田沼駅のバリアフリー化については、新年度から鉄道事業者が取り組む駅構内と駅北口のバリアフリー化に対して、市は補助を行う。駅南口（外階段）のバリアフリー化については、駅南口の抜本的な改善についての検証、検討作業を新年度事業として取り組む（委託料を計上）。

Q.ダイエー津田沼店の再建計画と本市の対応について。

A.市は産業再生機構と日本生命保険（相）、及びダイエーの支援企業に対して店舗存続の要望活動を行うとともに、この問題をJR津田沼駅南口一帯、本市のまちづくりの全面的な課題としてとらえ、商工会議所や地元商店会などと連携しながら対応していく。

新社会党

憲法改悪・定率減税縮小・廃止阻止、小児救急医療推進

Q.憲法が改悪されようとしている。自民党憲法調査会が昨年11月発表した〝憲法改正草案〟では、自衛策の設置や集団的自衛権（日本が攻撃をされていなくても、同盟国が戦争状態にあれば日本も参戦すること）を明記したりしている。**憲法改悪をやめるよう国に物を申してほしい。**

A.検討する。

Q.政府・与党は、定率減税を縮少・廃止しようとしている。庶民にとって大増税だ。

99年には定率減税だけでなく法人税減（34.5%を30%に）、所得税の大金持減税（40%と50%の税を共に37%に）も一緒にした。景気が良いのは企業と大金持ちだ。**法人減税と大金持ち減税を縮少・廃止し定率減税の縮少・廃止を止めるように要求してほしい。**

A.検討する。

Q.済生会習志野病院の進捗状況と小児救急医療について。

A.今年2月末に本棟工事が竣工し、6月に新病院が開院するのに合わせて365日24時間体制の小児救急医療に取り組む予定だったが、小児科医師の不足で人的確保が困難なため、段階的に整備していく。

Q.社会教育の今後について。

A.「生涯学習推進のまち習志野」の実現をめざす。

（現在社教主事は職員21名中4名、司書は17名中9名しかいません。改善を強く要望）

公明党

教育も福祉も行政も目の前の一人のためにあります!!

Q.防災対策において、来年度に行う被害想定の再調査、防災計画の見直しについて。

A.京葉圏という広域複合災害と捉え、交通・流通等を考慮した視点も盛り込み、市民に分かりやすい公表の仕方を検討する。

Q.学校の安全に対する施策について。

A.全幼稚園・保育所に緊急通報システムを導入し、小学校は3校にビデオカメラを設置します。また、全学校に催涙スプレーなどを配備する。

Q.歩いて暮らせるまちづくりについて。

A.戦略的組織づくりについて研究していきたい。

Q.京成津田沼駅バリアフリー化について。

A.構内と北口に計4基のエレベーター設置し、18年度に完成。南口エスカレーターは17年度に調査を始めます。

Q.次世代育成支援対策行動計画策定後、市民の為の計画として的確に実現する上で最重要となる検証について。

A.策定懇話会をはじめ、市民の声を反映していく機関を立上げ毎年検証していく。

Q.産褥ヘルプサービスの実施について。

A.小学3年生までの家庭に対する家事支援として社会福祉協議会と調整を図り早期実施していく。

Q.母子保健事業の今後の課題

A.①乳幼児の虐待を未然に防ぐ②思春期保健対策の強化③発達障害をもつ親と子の支援。

Q.済生会習志野病院の性差医療を考慮した女性専用外来の開設時期について。

A.18年春のグランドオープンまでに開設に踏みきって頂く。

Q.配食サービスの改善点は。

A.18年度からの準備期間として複数メニューの提供をする。

また一つ増えた老後の安心
4月1日特別養護老人ホーム"マイホーム習志野"開設

日本共産党

ボートピア問題 市民参加で賛否を決めよ！

Q.約一万一千人の市民による住民投票条例制定の直接請求は、市民参加でまちづくりのあり方を決める重要な提起である。市長の見解は。

A.住民投票にはデメリットもある。今回の条例は「不要」。

Q.ボートピア問題では、市民参加の制度が何ひとつ取り上げられていない。市長の言う「市民参画」「協働」は看板だけで実行されていない。

A.いろいろな場で話を聞いた。

Q.競艇は、全国モーターボート競走会連合会によると売り上げが大幅に落ち込んでいる。習志野市の財源にふさわしいのか考えるべきではないか。

A.見通しとしてはご懸念をいただいているが、私どもも同様に、けっして抗弁できるような中身ではないと充分認識をしている。

Q.県は、小児慢性特定疾患治療費の県補助全面廃止を決定したが、子どもの健康の確保、に逆行するものである。市長の見解は。

A.大変きつい思いをされるんじゃないかと同情する。

Q.県へこの制度を復活するように要望していただきたい。

A.近隣市で意見が一致するならば要望したい。

Q.市営住宅泉団地、東習志野団地の7棟168戸は浴室がない。

対策は。

A.05年度に両団地1棟の老朽化診断をし、浴室設置、内外装、トイレの改修を検討したい。

Q.市内交通不便地域の市内循環バスについて。

A.実施計画をつくる段階ではないが、現状より前進が図られるようにしたい。

Q.介護保険制度の見直しで、とくに個室型特養入所者に月額4～5万円のホテルコストが徴収される。低所得者対策についてどうするのか。

A.低所得者には、社会福祉法人が行う利用者負担額減免事業を適用して2分の1に軽減したい。

Q.京成津田沼駅へのエレベーター・エスカレーター設置の市民要求が強い。設置計画は。

A.4基のエレベーターと身障者用トイレの設置を予算計上。南口のバリアフリー化については、1年間をかけて調査・検討する。

可決された主な議案概要

平成17年度一般会計予算
平成17年度の主要事業
（市長の所信表明から）

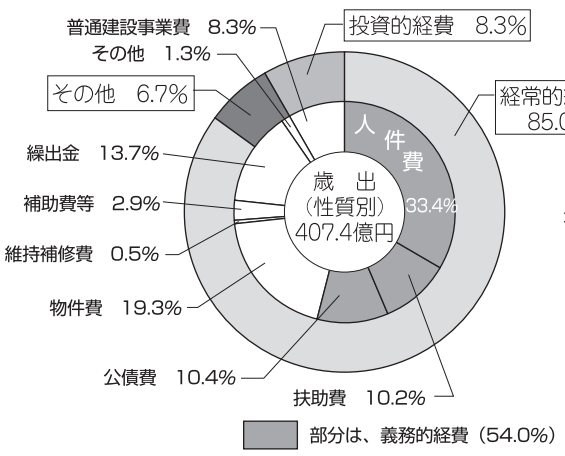
第1　自主・自立のまちづくり
1 行政評価システム事業
2 パートナーシップ事業　など

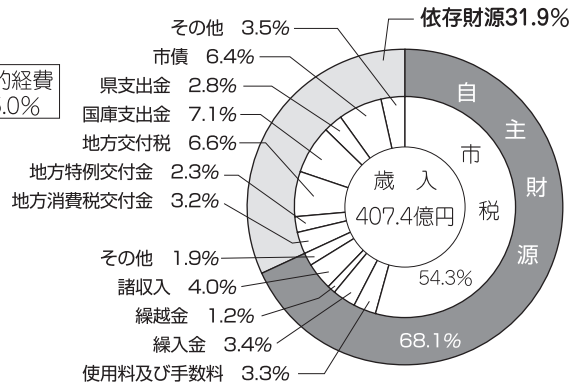
第2　安全で安心な暮らしができるまちづくり
1 地域防災計画策定事業
2 携帯電話119番受信システム整備事業
3 救急活動資機材整備事業
4 JR津田沼駅北口駅前広場バリアフリー事業
5 京成津田沼駅エレベーター設置事業助成並びに南口バリアフリー調査委託　など

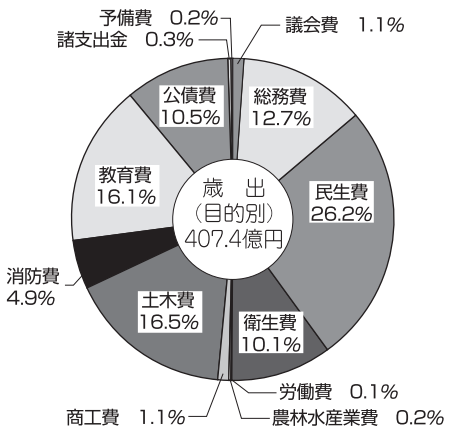
第3　健康なまちづくり
1 「健康なまち習志野」計画推進事業
2 小児2次救急診療体制の充実
3 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定
4 環境基本計画の策定
5 （仮称）茜浜パークゴルフ場施設整備事業

第4　夢を育み、こどもが輝くまちづくり
1 （仮称）東習志野こども園開設
2 病後児保育事業
3 預かり保育事業
4 第3中学校大規模改造事業
5 津田沼小学校管理棟・特別教室棟外部改造工事　など

第5　活力あるまちづくり
1 JR津田沼駅南口周辺開発整備事業
2 京成大久保駅周辺開発整備事業
3 京成実籾駅南口開発整備事業
4 都市計画道路3・3・3号線他都市計画道路の整備
5 習志野市産学官連携プラットホーム事業
6 緊急地域経済対策事業　など







当初予算総括表　（単位：千円）

会計名＼年度	15年度	16年度	17年度
一般会計	39,840,000	45,740,000	40,740,000
特別会計	27,542,195	28,973,231	30,868,867
小計	67,382,195	74,713,231	71,608,867
企業会計	12,622,750	11,188,100	10,646,900
総額	80,004,945	85,901,331	82,255,767
総額の伸率	△ 2.4	7.4 (2.0)	△ 4.2 (0.8)
一般会計の伸率	△ 3.7	14.8 (4.1)	△ 10.9 (△ 1.7)

（　）は、16年度予算に計上した減税補てん債の借換債4,276,300千円を除いた伸率